

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所Ohana		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 13日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数での療育を提供できる事で療育の質が担保され、分かり易く手厚い支援が提供できる事</li> <li>・専門療育(言語・音楽・作業・理学)の他に専門の保育士が計画する体験療育も充実しており、総合的な支援(5領域)が提供できている事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次の順番を待つ間も「順番待ちの時間」ではなく、子ども達が遊びを通して力を付けていける様、遊びの延長上に療育を考えていく事を意識している。</li> <li>・療育室やホールが狭い事もあり、子ども達が分かり易い空間を作る構造化に心がけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間での月1回のカンファレンスをより充実した内容にしていく事と「体験療育」として実施する総合的な支援の内容を更に検討し子供達が楽しく経験できる様、常に創意工夫を凝らしていく。利用児に合わせて居室が安全で安心できる空間である様構造化を常に考え変化させて行く様にする。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10人定員のメリットとしては、保護者様との距離が近く相談等がしやすい環境が作れている事。その為お一人お一人と向き合う事が出来ている事。</li> <li>・連絡帳を活用し、子供さんご利用されている療育内容やお家で出来る事をそれぞれのセラピストから直接保護者様へ詳細にお伝えしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様と職員の距離を縮める事と保護者様同士のコミュニケーションが取れる様に、今年度は茶話会を実施した。</li> <li>・連絡帳や電話での相談事等に対して、その内容にあったセラピストが助言をしたり、児発音からの総合的なアドバイスを必ずする様に意識している。</li> <li>・保護者様や相談員の施設見学を随時受け入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様との茶話会が今年度は1回しか実施できなかったの、今後は日程調整をしながら回数を増やし保護者様の参加が増える様さらに充実させていく。</li> <li>・SNS等で療育の様子を更に頻度をあげて伝える事や毎月のお便りの内容に避難訓練や事業所での行事やその他の取り組み等を保護者様に分かり易く記載する事。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者施設や保育園、また放課後等デイサービス等が併設しており、世代間交流を身近に体験できる環境がある。</li> <li>・果樹園や畑、亜熱帯植物園、温泉等が身近にあり、法人内の資源が豊富で、室内だけの療育にとどまらず、屋外での「五感を使った様々な体験」を計画して実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の豊富な資源を有効に活用するために、専門療育以外に「体験療育」として時間を取り、果樹園や温室、畑等に向き総合的な支援を意識的に実施している。</li> <li>・小学校上がる前の年長児で放課後等デイサービスの利用を考えている利用児には、同法人内の放課後等デイサービスに向き体験をして就学後の不安の軽減に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の資源を活用する事により、子供たちがOhanaに来ることを楽しみにしてくれる様「体験活動」をさらに充実させていく事</li> <li>・果樹園や畑、亜熱帯植物園、温泉等法人内の資源が豊富にあり、室内だけの療育にとどまらず、屋外での「五感を使った様々な体験」を計画して実施している事を保護者様にしっかり伝える事でOhanaの療育に対する理解が深まる。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育の内容と活動の充実を考えると、現在の居室では広さと居室の数が足りないと感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室の広さや数については、以前もご指摘があり課題として上がりますが、法人内の高齢者施設と保育園との併設になっており単独での構造ではないため難しさはある。</li> <li>・ただし、居室の広さは基準はクリアしており問題はないが部屋数も現状では増やす事が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居室の使い方をさらに工夫して(療育内容に合わせて)今後より安全に使える様にパーティションの使い方やホールの使い方を検討し構造化をする。また、部屋数についても室内だけではなく法人内の屋外の資源を使い自然の中で療育方針でもある「五感を使った体験」を実施する事でカバーできると考える。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に対するマニュアル等は全て作成されており、訓練も法定通り実施されているが、その様子や実施状況について保護者に分かり易く周知出来ていない事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前からご指摘がある点でもあり、その都度対策をしてきているが、保護者に確実に届けられていない現状がある。掲示もしているが、掲示できる場所も保護者様が常に見える場所ではない事と毎月のお便りでもお知らせしているが、なかなか周知が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も掲示を続けるが、訓練を実施した際には分かり易い玄関先に掲示するなど場所を再度検討する。また、今までは毎月のお便りに載せていたが、より早く周知するために訓練のあった日か翌日には号外としてお配りする事やSNSを有効に使う事を検討する。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が小さい事もあり家族会等は現在も組織しておらず、ご家族間のコミュニティが築けない事。ピアカウンセリングの必要性はとても感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この点についても以前からご指摘があり、参加者は少なかったが今年度は土曜日を使いご家族との茶話会を実施した。また、家族支援については、連絡帳や電話でのやり取りやその都度の相談援助にて個別では行われてはいるが、十分ではないと感じている。日程調整の難しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も茶話会は実施していこうと思っている。今年度は1回のみ開催になってしまったので、今後は回数を増やしご家族同士の繋がりやピアカウンセリングとしての役割が十分果たせる様に改善していきたい。</li> </ul>